

小鹿総第 415 号

平成30年3月22日

小鹿野町政策審議会

会長 小松 征三 様

小鹿野町長 森 真太郎



産業振興の活性化について（諮問）

小鹿野町政策審議会条例第2条第1項の規定により、下記について貴審議会の意見を求めます。

記

町政の推進につきましては、「文化の香り高く、小さくともいきいきとした小鹿野町の創生」を目標に掲げ、「小鹿野町に新しい風を吹き込む」をスローガンとして、町のかじ取りを担ってまいりたいと存じます。

そこで、町の施策として喫緊の課題である、地域経済再生のための産業振興施策につきまして、貴審議会の意見を求めるため諮問いたします。

（理由）

平成17年10月に町村合併し、新町建設計画に基づき新しい町づくりを推進し、それに続く計画として平成21年度から第1次総合振興計画を策定し、様々な施策を実施してまいりました。

合併後12年を振り返りますと、約3,000人もの人口が減り人口減少が著しい状況にあります。これは小鹿野町だけの問題ではなく、全国的な現状ではありますが、この人口減少のスピードを、いかにスピードダウンできるかが大きなポイントになってまいりますので、多様な施策を施さなければスピードダウンに繋げていくには難しい状況であると思われまます。

そこで、「地域経済の再生、稼げる町の創生」を目指し、定住人口、交流人口を増やすなど、産業振興の活性化が必要と考えますので、委員の皆さんの経験と知恵をお借りして、迅速で即効性のある施策を打ち出していきたく思います。